

◎北陸地方の1か月予報(3/28~4/27)

新潟地方気象台3月26日現在

- ・向こう1ヶ月の平均気温は、平年並みまたは高くなる予報です。
- ・4月上旬、下旬の気温が高くなる可能性があります。特に上旬の高温が予想されます。
- ・中旬の気温は平年並みのようです。

寒くて晴れた日こそハウスの温度確認が大切です!
ヤケ苗に注意しましょう



1. ハウス育苗(稚苗)の管理

- ・例年、柏崎管内では老化苗の使用が見られます。
腰の低いズングリした硬い苗で、安定した初期成育を確保しましょう。

高品質米

活着が良くなることで、初期の
分けつが発生しやすくなります!



適期に中干しに入ることができ、
穂肥をしやすい稲姿になります!



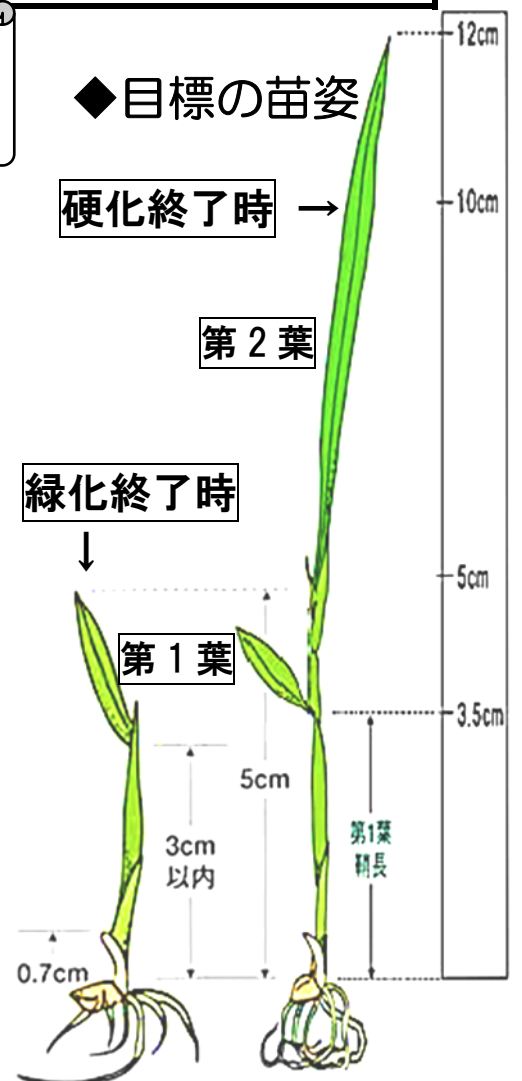
時期	出芽期		緑化期		硬化期	
実施期間	加温	2~3日間	2~4日間		12~13日間	
	無加温	5~7日間				
被覆 換気	<ul style="list-style-type: none"> ・芽の長さ1cm※を目途に出芽させる。 ※こしいぶきは1.5cmを目途にしましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・第1葉が開いたら、シートを取り除く。 ・ハウス内温度が20~25℃以上の場合はハウスを換気する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・基本的にハウスを開放し、霜注意報などの低温時は閉める。 ・田植え1週間前頃からは夜間もハウスを開放し外気にならす。 	
温度	28~30℃ ※病害抑制(特に細菌性病害)のため30℃以上にしない		昼	20~25℃ ※晴天日は早めに開放	昼	15~20℃ ※晴天日は早めに開放
			夜	15~18℃	夜	10~15℃
かん水	<ul style="list-style-type: none"> ・播種時にたっぷり行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・緑化開始時に土の状態を確認し、乾いていればかん水を行う。 ・土の表面が乾いた場合は、1日1回午前10時までに行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・前半は1日1回、後半は乾き具合をみて午前午後の2回行う。 ※床土の温度低下を防ぐため、午後3時以降のかん水は避ける。 	

2. プール育苗の管理

- ・体感温度でなく、温度計の数値をしっかりと確認しましょう。

注意点

準備 作業	<ul style="list-style-type: none"> ・箱底から大量の根が出るので、箱底に専用シートを敷くか、底孔の少ない育苗箱を用いる。 ・苗床はなるべく均平にし、育苗箱を並べても水が循環できるようスペースを広めにとる。
水管理	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化が終了(第1葉が展開)したら被覆資材を取り、床土面まで湛水を開始する。(緑化終了時に種子根が伸びていない場合は、湛水時期を遅らせる) ・水位が床から1cm以下になったら、苗箱の上まで湛水する。 ・落水は田植え5日程度前に行う。また、弁当肥は落水後に施用する。
換気	<ul style="list-style-type: none"> ・湛水すると夜間の温度が下がりにくく、苗が伸びやすくなるため、夜間もハウスを開放する。 ・霜注意報などの低温や強風時はハウスを閉める。



3. 弁当肥（田植え前の追肥）を施用し初期生育を確保しましょう！

- 田植え直後の苗は新しい根が生えるまで養分を吸収することができません。
- 田植え前に弁当肥を施用することで苗の活着、分けつ発生の促進につながります。
- 田植え4～5日前に窒素成分で『1g～2g/箱』を追肥しましょう。

資材名（例）	散布方法	1箱あたり散布量（箱あたり窒素成分）
べんとう肥（細粒品）	箱上から均一散布	15～20g（1.2～1.6g）
くみあい液肥2号	かん注	10～20ml（1.0～2.0g）※50倍希釈

※葉やけ防止の為、散布後は散水し葉についた肥料を流しましょう。また、軟弱苗や徒長苗には施用しないでください。

4. 箱処理で病虫害防除をしましょう！

- 下表を参考に目的に応じた箱処理をしましょう。

（H27年3月20日 現在の登録内容）

目的	いもち病・初期害虫	初期害虫のみ	いもち病・紋枯病・初期害虫
品種、条件	早生品種、いもち常発地	イネドロオイムシ多発地	飼料用米
薬剤名	Dr.オリゼフェルテラ粒剤	ワンリード箱粒剤08	① 嵐ダントツ箱粒剤 ② エバーゴルフオルテ箱粒剤
使用時期	緑化期～移植当日	播種時覆土前～移植当日	① 移植3日前～移植当日 ② 播種時～移植当日
散布量 / 散布方法	50g（箱当たり） / 箱上から均一散布		

※農薬残留の恐れがあるため箱施用剤は販売用野菜の栽培場所では散布しないでください。

5. 注意事項 除草剤の使用方法について！

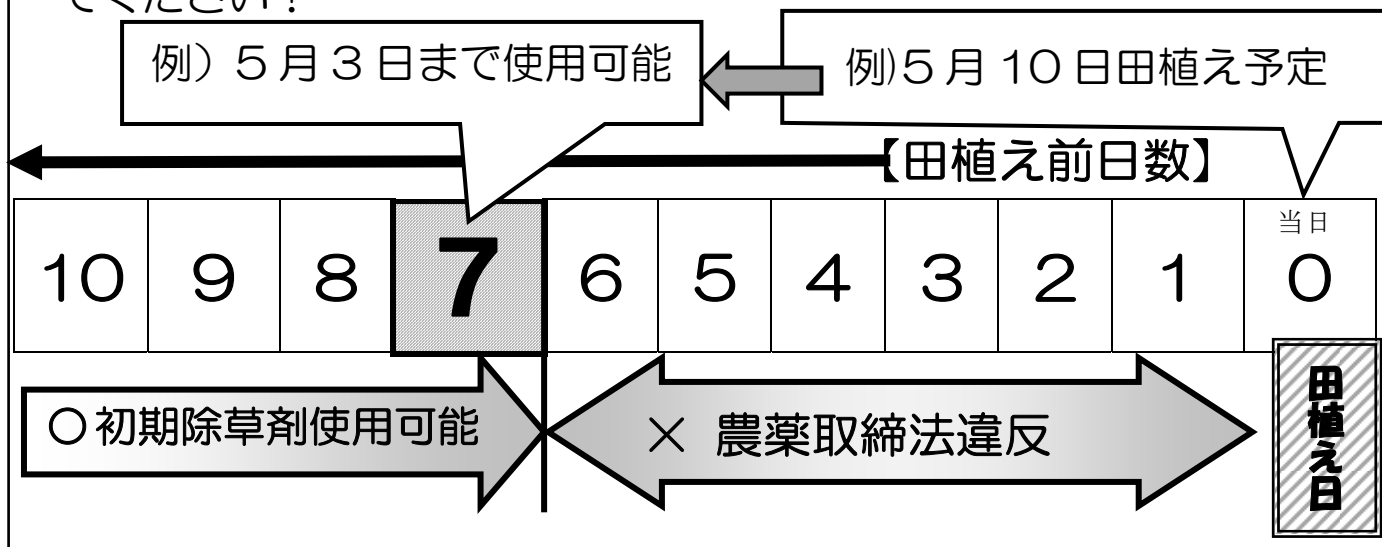
- 漏水田では、丁寧な代かきで田を均平にして田面の露出を防ぎましょう。
- 除草剤を使用する際は河川等への流出による環境汚染を防ぐため、必ず水尻（落水口）を閉めた後に使用し、7日間の止水管理を厳守するようお願いいたします。

初期除草剤の田植え前の施用時期

注意 土壌表面が露出した状態では処理層は作られず、十分な効果が得られません。



大規模農家等、代かきから田植えまで期間が空く場合にやむを得ず田植え前に初期除草剤を使用する場合は、必ず「7日前まで」に散布してください！



平場版No.2

次回発行予定日：4月20日
田植え～水管理

柏崎地域農業振興協議会
柏崎市、刈羽村、中越農業共済組合、柏崎土地改良区
柏崎農業普及指導センター（柏崎地域振興局農業振興部）

【お問い合わせ先】

JA 柏崎営農指導課	21-2095
JA 中央柏崎支店	23-3411
JA 南部高田支店	22-5165
JA 東部田尻支店	22-5264
JA 北部西中通支店	23-2357
JA 高柳支店	41-2244
JA 刈羽支店	45-2255
JA 西山支店	47-2001
柏崎農業普及指導センター	21-6263